

企画展（令和7年11月5日～令和8年2月1日）

「古文書に親しむ」の展示解説

ひらがなは、平安時代に誕生した。以後 1000 年間、その仕組みは変わらなかった。明治 33 年(1900 年)に法が改正され、ひらがなは一音一字になった。以後、それまで普通に使っていた変体仮名は学校で教えなくなり、日常生活の中で使用しなくなった。

しかし、古文書は、その多くが明治以前のものであるために、当然ながら変体仮名が使われている。したがって、変体仮名が読めないと、古文書の読解はできない。古文書読解の第一歩は変体仮名の克服にあると言われる所以である。作品を通して、変体仮名にも触れながら、当時の人々の生活にも思いをはせていただきたく、解説してまいります。

せ め う
ん ん あ
ゑ ん ま
い ぶ ま



群馬県四万温泉の蕎麦屋の看板「生そば」「なが井」（出典:ウィキペディア）

日時：令和8年1月25日（日）

10:30～12:00

場所：三田ふるさと学習館

☎ 079-563-5587

三田市屋敷町 7-33

対象：どなたでも

料金：無料

人数：先着 20 名（申し込み不要）



企画：NPO 法人歴史文化財ネットワークさんだ